

さいたま市感染症発生動向調査(週報)

平成 31 年 1 月 16 日

平成 31 年第 2 週(1 月 7 日～1 月 13 日)

■全数把握対象疾患(結核を除く)

五類感染症の**急性脳炎** 1 人(病原体:インフルエンザウイルスA)、**侵襲性肺炎球菌感染症** 2 人、**梅毒** 2 人(病型:早期顕症梅毒Ⅱ期 1 人、無症状病原体保有者 1 人)、**百日咳** 4 人(0 歳 1 人、5 歳 1 人、8 歳 1 人、10 歳代 1 人)、**風しん** 2 人(検査診断例 2 人)の報告がありました。**風しん**の詳細は「さいたま市風しん週報」をご覧ください。

★インフルエンザが流行警報レベルとなりました!

★伝染性紅斑が流行警報レベルとなっています!

■定点把握対象疾患

インフルエンザの定点当たり報告数は、先週の 8.62 人から 30.46 人(報告数 1,188 人)と大きく増加しました。流行警報開始基準値(定点当たり 30 人)を超え、市内で大きな流行が発生しているものとみられます。ウイルス検出情報などの詳細は、別紙「さいたま市インフルエンザ週報」をご覧ください。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、先週の 1.31 人から 2.16 人(報告数 54 人)と増加しました。流行警報開始基準値(定点当たり 2 人)を超え、市内の過去の同時期と比較して最も報告の多い状況で引き続き注意が必要です。

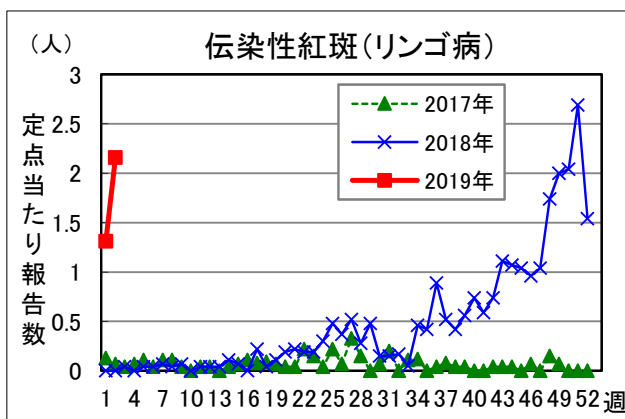
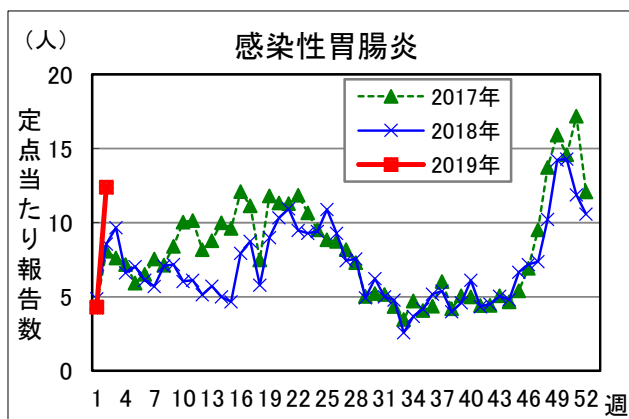
RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎の報告が増加しました。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎の報告が多い状況です。

細菌性髄膜炎の報告が 1 人(70 歳以上)ありました。

マイコプラズマ肺炎の報告が 1 人(5-9 歳)ありました。

感染症予防のため、日頃から流水と石けんによる手洗い、ウガイ、咳エチケットを励行しましょう。



■定点当たり報告数表(第2週 1月15日 13:00集計)

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
インフルエンザ	30.46	↑	★★
RSウイルス感染症	0.36	↑	★
咽頭結膜熱(プール熱)	0.24	↑	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.84	→	★★
感染性胃腸炎	12.40	↑	★★★
水痘(みずぼうそう)	0.72	↑	★
手足口病	0.28	→	★
伝染性紅斑(リンゴ病)	2.16	↑	★★★
突発性発しん	0.60	→	★

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
ヘルパンギーナ	0.00	→	★
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.08	↑	★
急性出血性結膜炎	0.00	→	★
流行性角結膜炎(はやり目)	1.00	→	★★
細菌性髄膜炎	1.00		報告数が少ないため表示せず
無菌性髄膜炎	0.00		
マイコプラズマ肺炎	1.00		
クラミジア肺炎	0.00		
インフルエンザによる入院患者	6.00		
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	0.00		

※推移:2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)

※流行状況:過去5年のデータをもとに、流行の大きさを示します。(小さい ←★、★★、★★★→ 大きい)

感染症発生動向調査 週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2019年第2週 平成31年1月7日～1月13日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	
インフルエンザ #1	1,188	30.46	4	14	43	51	68	67	55	55	52	62	56	147	72	87	92	110	71	37	29	16	
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-							
RSウイルス感染症	9	0.36	3	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	6	0.24	-	-	2	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	1.84	-	1	-	1	6	8	4	6	5	7	4	3	-	1							
感染性胃腸炎	310	12.40	1	27	77	34	27	21	17	22	20	5	11	22	8	18							
水痘	18	0.72	-	-	-	-	-	3	3	2	5	1	1	3	-	-							
手足口病	7	0.28	-	-	1	-	3	-	-	1	-	1	1	-	-	-							
伝染性紅斑	54	2.16	-	-	1	2	6	8	8	13	5	3	6	1	-	1							
突発性発しん	15	0.60	-	4	7	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	2	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-							
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	1.00	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	2	-	1	1	-	-
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-					
細菌性髄膜炎 #2	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	1	1.00	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザによる入院患者	6	6.00	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3					
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

(- : 0)

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況… 30.46 : 警報レベル、 2.16 : 注意報レベル

1月 15日 13:00 集計

全数把握対象疾患届出数(2019年)

類型	疾患名	2019年 第2週 受理分	2019年 累計 ※1	2018年 累計 ※1,2	疾患名	2019年 第2週 受理分	2019年 累計 ※1	2018年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	1	パラチフス	0	0	1
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	36				
四類	E型肝炎	0	0	3	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	14	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノкокクス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	1	レジオネラ症	0	0	12
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0	
デング熱	0	0	0	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	0	0	14	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1	47
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	0	6	水痘(入院例に限る)	0	0	4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	16	先天性風しん症候群	0	0	0
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) ※4	0	0	4	梅毒	2	2	72
	急性脳炎	1	1	23	播種性クリプトコックス症	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	11	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	7	百日咳	4	6	134
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	2	3	46
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	6	麻しん	0	0	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	1
新型インフルエンザ等感染症	規定されている疾患は、現在のところありません。							
指定感染症	該当する疾患は、現在のところありません。							

2019年1月15日 15:00集計

※1 累計は診断日で集計しています。 ※2 2018年累計は速報値となっています。
 ※3 結核は四半期ごとに集計し、感染症情報センターホームページに掲載しています。
 ※4 感染症法施行規則の一部改正により、2018年5月1日から全数把握対象疾患となりました。